



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 22 年 5 月 22 日(土)
春の桃源郷に行ってきました 編

毎年恒例の八峰町手這坂の「春の桃源郷まつり」ですが、今年も諸々の事情があり開催されませんでした。でも、今年も美しい桃の花を見たくて「すみれ会」相澤さん、「ぐるーぷ・あばんしえ」平川さんの3人で手這坂を訪れました。

丁度、事務局を務める嶋津さんにもお会いすることができ、ラッキーでした。今年に入り、3月には雪灯籠作りでおじゃまし、あまりの美しさに家に帰ることも忘れて見入ったものでした。その時は雪原だった田んぼには、菜の花が一面に植えられピンクの桃の花とマッチし見ごとな田園風景を再現していました。

手這坂は、文化4(1807)年にこの地を訪れた江戸時代の紀行家、菅江真澄が「桃源郷」とたたえた集落です。平成12年に無人集落となりましたが、この風景を200年後に残そうと翌年から「手這坂活用研究会」が発足され、現在も地道な活動を続けています。

ただ、屋根の修復などの課題も大きく、民間だけではなく行政の力も必要としています。自然を愛しむ心を地域全体に広めることは出来ないのでしょうか。手這坂活用研究会の10年間を無駄にしたくない！何とかこの風景を残したい！そんな気持ちでいっぱいになりました。

秋田県の景観モデル地域支援事業の補助金で作成したパンフレットはとっても素敵です。募金箱も設置されていますので、手這坂を是非訪ねてみて下さい。

文： 能登 祐子



水を引けなくなってしまい休耕田となった水田ですが、一面の菜の花が桃源郷の春を実感させてくれます。



桃源郷の代名詞・しだれ桃やヤマブキなどの春の花々も満開で、まさに春爛漫です。



県の補助事業で民家の周辺には各家の間取りを示した案内看板や募金箱などが設置されています。